


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年 8月 16日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第6号	質問議員	8番	清水 明	
件名	地域の文化財の継承、存続を問う				
要 旨					
<p>山北町は「観光立町」である。歴史的資源としては「河村城址」、「河村新城」、「室生神社の流鏑馬」、「お峯入り」等がある。自然的資源としては「洒水の滝」、「丹沢湖」、「ユーシンプルー」等名だたるものがある。</p> <p>ひるがえって、文化財とは認められてはいないがそれに相当する歴史的な文化財が地域にはある。今それらのものが継承、存続をめぐって危機的状況にある。そこで問う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 毎年1月に行われている山北地区の道祖神祭は、町内外から多くの観光客を呼んでおり、町の年中行事として定着している感もある。しかし、少子高齢化のため年々その運営が厳しくなっている。そこで、単に地域の一行事ではなく町の観光資源、及び町の文化財として、保護、継承する考えはないか。2. 11月の室生神社の祭典は「流鏑馬行事」で県下に知られているところであるが、それに先だつての町内巡行は神社と連合自治会がその運営を行っている。花車保存会や神輿保存会の努力があり、ギリギリのところ毎年実施されているが、先の見通しが厳しい状況にある。この町内巡行を室生神社の神事と切り離し、町の文化財として保護、継承していく考えはないか。					